

No47 N o v e m b e r 2017

町田おかしの家を支える会

事務局

194-0035 東京都町田市忠生2-7-9

「町田おかしの家」内

TEL 042-792-9773 FAX 042-792-9767

だいぶ過ごしやすい季節になってまいりました。先日「芸術の秋」としゃれこみ、ダウン症の書家「金澤翔子展」に足を運んでまいりました。

「書」の入り口にも足を踏み込んだことのない私ですが、力強く、躍動感に満ちた書は「素晴らしい」の一言で表すのは申し訳ない感情に陥りました。

同じ障がい者を持つ親として、ここに至るまでの道のりは並大抵ではなかったのではないかと、10歳の時に書かれた「般若心経」、これだけの漢字を書かれるのは毎日血のにじむような練習を重ね、親子の葛藤があったのではないか、それが今日に繋がっていると思うと感慨深いものがあります。

我が息子も中学時代、書道の先生を招き指導を受けました。自閉症の子どもは、角ばって力の入った文字を書くのを何とかしたいと担当の先生のお考えからでした。「力を抜いてそこは丸く払って……」等々、最後は畳2畳分くらいの和紙に太い筆で「飛」の文字を書き、それを見たときは感動しました。やはり「努力すると最後は実を結ぶ」の一言ですね。

翔子さんのお母さまの足元にも及びませんが、私たちも子どもの為「あれはできない」「これは無理」と考えず、一つでも「できる」事に努力、挑戦してみませんか？



町田おかしの家を支える会

代表 目黒美智子